

DESIGN-R® の採点と大文字を小文字にするケア計画：症例 1

| | | 初診時 | 3 週間後 | 8 週間後 |
|---------------|-------|---|------------------------------|------------------------------|
| 創の状態・評価 | 臨床像 | | | |
| | 深さ | D：壊死組織が付着しており創底の深さがわからない | D：創辺縁と創底に段差あり皮下組織までの損傷 | D：創辺縁と創底に段差あり皮下組織までの損傷 |
| | 滲出液 | e：1日1回ドレッシング交換を実施している | E：1日2回ドレッシング交換を実施している | e：1日1回ドレッシング交換を実施している |
| | 大きさ | s：長径 6 cm 長径と直交する最大径 5 cm | s：長径 6 cm 長径と直交する最大径 5 cm | s：長径 2 cm 長径と直交する最大径 1 cm |
| | 炎症/感染 | i：局所の炎症徴候なし | i：局所の炎症徴候なし | i：局所の炎症徴候なし |
| | 肉芽組織 | G：壊死組織で覆われ良性肉芽はまったく形成していない | G：浮腫状の豚肉色の肉芽で良性肉芽の形成なし | G：やや浮腫状で豚肉色良性肉芽の形成なし |
| | 壊死組織 | N：硬く密着した壊死組織が付着している | N：軟らかい壊死組織あり | N：軟らかい壊死組織が一部あり |
| | ポケット | p：ポケットなし | p：ポケットなし | p：ポケットなし |
| | 合計点 | DU-e1 s8 i0 G6 N6 p0 : 21点 | D3-E6 s8 i0 G6 N3 p0 : 23点 | D3-e1 s3 i0 G6 N3 p0 : 13点 |
| 治療方針 (図4に沿って) | | <p>N：壊死組織の除去 → デブリードメント施行 (外科的・薬剤)</p> <p>壊死組織が除去された後に G：適度な湿潤環境をつくる → ドレッシング材の選択 肉芽を増殖させる薬剤の選択</p> <p>E：滲出液のコントロール → ドレッシング材の選択 → 滲出液を減少させる薬剤の選択</p> | | |
| | | <p>E：滲出液のコントロール → ドレッシング材の選択 → 滲出液を減少させる薬剤の選択</p> | | |
| 看護ケア | Dのケア | Dのケア 圧迫の除去による血流の改善 | | |
| | Eのケア | Eのケア スキンケアによる 創周囲の湿潤・浸軟の防止 | | |
| | Gのケア | Gのケア 創面の圧迫・ずれの防止 栄養状態/貧血の改善 | | |
| | Nのケア | Nのケア 圧迫の除去 摩擦とずれの防止 | | |

DESIGN-R® の採点と大文字を小文字にするケア計画：症例 2

| | | 初診時 | 3 週間後 | 8 週間後 |
|---------------|-------|---|----------------------------------|------------------------------|
| 創の状態・評価 | 臨床像 | | | |
| | 深さ | D：壊死組織が付着しており創底の深さがわからない | D：創底(筋膜)が見えてきた皮下組織を越える損傷 | D：皮下組織までの損傷 |
| | 滲出液 | e：1日2回ドレッシング交換を実施している | e：1日1回ドレッシング交換を実施している | e：3日に1回ドレッシング交換を実施している |
| | 大きさ | s：長径 2.5 cm 長径と直交する最大径 2 cm | s：長径 2.5 cm 長径と直交する最大径 2.5 cm | s：長径 2 cm 長径と直交する最大径 1 cm |
| | 炎症/感染 | I：創周囲に発赤・熱感あり排膿あり | i：創周囲の炎症徴候あり | i：局所の炎症徴候なし |
| | 肉芽組織 | G：良性肉芽はまったく形成されていない | G：良性肉芽はまったく形成されていない | g：創面の90%以上が良性肉芽 |
| | 壊死組織 | N：軟らかい壊死組織あり | N：軟らかい壊死組織あり | n：壊死組織なし |
| | ポケット | p：ポケットなし | p：ポケットなし | p：ポケットなし |
| | 合計点 | DU-E6 s6 I3 G6 N3 p0 : 24点 | D4-e3 s6 i1 G6 N3 p0 : 19点 | D3-e1 s3 i0 g1 n0 p0 : 5点 |
| 治療方針 (図4に沿って) | | <p>N：壊死組織の除去 → デブリードメントの施行 (外科的・薬剤)</p> <p>壊死組織が除去された後に G：適度な湿潤環境を作る → ドレッシング材・薬剤の選択 肉芽を増殖させる薬剤の選択</p> <p>E：滲出液のコントロール → ドレッシング材の選択 I：感染のコントロール → 感染制御作用を有する薬剤の選択</p> | | |
| | | <p>壊死組織が除去された後に G：適度な湿潤環境を作る → ドレッシング材・薬剤の選択 肉芽を増殖させる薬剤の選択</p> <p>小文字であるが治癒させるために s：創部の湿潤環境を保持・保護 → ドレッシング材・薬剤の選択</p> | | |
| 看護ケア | Dのケア | Dのケア 圧迫の除去による血流の改善 | | |
| | Eのケア | Eのケア スキンケアによる 創周囲の湿潤・浸軟の防止 | | |
| | Iのケア | Iのケア 創・周囲皮膚の十分な洗浄 | | |
| | Gのケア | Gのケア 創面の圧迫・ずれの防止 栄養状態/貧血の改善 | | |
| | Nのケア | Nのケア 圧迫の除去・摩擦とずれの防止 | | |